

令和元年度避難者アンケート調査の結果について【概要】

1 調査対象等

- (1) 東日本大震災により山形県内に避難されている 613 世帯
- (2) 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (3) 調査期間：令和元年7月上旬～7月下旬
- (4) 回答数：156件
- (5) 回収率：25.4%

2 調査結果のポイント

- (1) 家族状況は、「高齢者がいる世帯」は 29.5%、「子供がいる世帯」は 59.6%、「家族と離れて暮らす母子のみ避難」が 19.2%となっている。
- (2) 山形での生活について、困っていること・不安なことは、「生活資金」が最多
・困っていること・不安なことは、①「生活資金 (58.3%)」、②「健康 (48.1%)」、③「住まい (34.0%)」の順となっている。
- (3) 今後の生活の予定については、「山形県に定住したい」が 40.4%で最多、「もうしばらく山形県で生活したい」34.0%と合わせて、7割強の方が山形県に留まりたい意向
・避難元の県へ帰還する場合に心配なことは、①「仕事のこと (48.8%)」、②「生活資金のこと (41.9%)」、③「放射線の影響のこと (40.7%)」の順。
- (4) 7割弱の方が心身に何らかの不調
・①「疲れやすく体がだるい (32.7%)」が最多で、以下、②「よく眠れない (21.2%)」、③「憂うつで気分が沈みがち (21.2%)」となっている。
- (5) 教育や子育てについて、困っていること・不安なことは、「子供の進学や進路が心配」が最多
・子供がいる世帯の方が望むことは、①「進学や進路についてのアドバイスがほしい (34.4%)」、②「子育てに役立つ情報がほしい (18.3%)」と続く。「特にない (36.6%)」との回答も多い。
- (6) 高齢者の生活について、困っていること・不安なことは、「健康」が最多
・高齢者がいる世帯の方が望むことは、①「生活に役立つ情報がほしい (23.9%)」、②「交流に関する情報がほしい (19.6%)」と続く。「特にない (30.4%)」との回答も多い。
- (7) 主に生計を支えている方の7割以上が就業
・県内の就職で困っていることは、①「賃金が低い (26.3%)」、②「希望する業種・職種の求人が少ない (19.9%)」、③「希望する時間帯の求人が少ない (19.9%)」となっている。
- (8) 県、市町村、ボランティア団体等による避難者支援は、8割が評価
・今後、県内で期待する支援は、①「住宅に関すること (26.9%)」、②「生活情報の提供の充実 (23.7%)」、③「生活資金についての相談 (20.5%)」の順。